



ECサイトのコンテンツをパーツに分けて自由に編集できるイメージ

線設計や運営効

度度が向上するとともに

に、パーツごとに一括して更新できるため、運営の手間も削減できるようにになった。

「これまではテンプレートに合わせて、商品情報を穴埋め式で入力していた形式だった。例えばギフト包装の情報は、商品情報の欄に入力していた。これだと包装画面から注文完了ま

す。

れ変更している。

9月3日、ECサイト構築プラットフォームにおいて新たなCMS(コンテンツマネジメントシステム)機能の提供を開始した。サービス名も変更し、デザインのカスタマイズ性と機能の拡張性を両立している。コンテンツに

新CMS機能「commerce creator(コマースクリエイター)」の提供を開始した。新機能では、ECサイトを構成する要素をパーツに分類して、自由にレイアウトできるようにした。ページのデザインや表現の自由度が向上するとともに

に、パーツごとに一括して更新できるため、運営の手間も削減できるようにになった。

「これまではテンプレートに合わせて、商品情報を穴埋め式で入力していた形式だった。例えばギフト包装の情報は、商品情報の欄に入力していた。これだと包装画面から注文完了ま

す。

れ変更している。

プ(本社大阪府、星野

裕子社長、(電)06-6485-5200)は

率化にも配慮したという。

SaaS型ECサイト構築プラットフォーム「futureshop(フューチャーショップ)」において、

「正直、ゼロからシステムを作った方が楽。しかし、そうすると導入企業さまの移行には、大きな負荷がかかってしまう。導入企業さまは既存の登録内容やデータを生かしたまま、新CMS機能を利用できる」(同)と話

す。

れ変更している。

フューチャーショップ

# 新たなCMS機能を提供

## デザイン性と拡張性を両立



新しくなったサービスロゴ (写真上) と新しいCMS機能のロゴ

方法が変更になった場合、一つ一つ書き換えなければいけない。新しいCMS機能では、例えばギフト包装のコンテンツを作り、ギフト商品のタグが付いている商品にのみ表示する」と設定。包装方法が変更になった場合は、該当パーツを変更するだけでよい」(星野社長)と説明する。

新機能提供と同時にサービス名を「futureshop2」から「futureshop」に変更した。今後もシステムを入れ替えるのではなく、機能を更新することで新たな価値を提供していく方針のため、サービス名から数字を省いたという。

オムニチャネル対応のサービスは「futureshop2X」から「futureshop omnichannel」に、越境EC向けサービスは、「futureshop p2 OVERSEAS」から「futureshop overseas」に、それぞれ変更している。